

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 大阪国際空港受配電設備改造その他工事

開 札 年 月 日 令和4年8月18日 （落札決定日 令和4年9月6日 ）

入札執行官署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 17,380,000 -

落 札 者 宏電エテック株式会社

予 定 価 格 ￥ 28,446,000 -

積 算 額 ￥ 28,446,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 25,860,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 26,158,000 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 23,780,000 -

基 準 評 価 値 386.697

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評 価 点 (満点122点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
宏電エテック株式会社	111.0	15,800,000	702.531	○				落札
八洲電機株式会社	109.5	17,400,000	629.310	○				
水田電工株式会社	-	不着						

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和4年9月6日に落札者を決定した。

項目	内容
1. その価格により入札した理由	直接工事費について、長年にわたり良好な協力関係にある業者から資材調達することにより廉価にすることができるとしている。 労務費については、大阪国際空港内で長年にわたり作業経験があり、現場を熟知した者を配置することで、費用を削減することができるとしている。 また、本社から本工事の作業場所までが近距離であることから、新たな機械器具等を購入することなく施工できることから、共通仮設費、現場管理費、一般管理費を縮減できているとしている。 以上の理由から、当該価格で十分に安全及び品質を確保した施工が可能と判断し、入札を行った。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、従事している手持ち工事はなく、配置予定の主任技術者は本工事へ専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、従事している手持ち工事はなく、配置予定の主任技術者は本工事へ専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所である大阪国際空港は調査対象者の本社が近隣に位置するため、資機材運搬・管理面において経費の節減が可能で、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認できた。
5. 手持資材の状況	手持資材はなく、今回工事において調達することとしている。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	長年にわたり取引がある業者から資材を調達することにより、廉価で購入することが可能であることを資材購入先の見積書により確認した。
7. 手持機械数の状況	当該工事で使用する充電油圧式多機能工具を自社で保有しており、損料計上が優位であることを提出資料により確認できた。
8. 労務者の具体的供給見通し	自社の者は施工管理・安全管理・品質管理・作業員への指示・工事進捗の管理等を行うこととしており、雇用関係は健康保険証の写し、施工等に必要資格は資格者証等にて確認したほか、現場の施工は全て協力会社である下請業者が行うこととしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認できた。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①大阪国際空港電源切換盤設置その他工事(大阪航空局) ②那覇空港増設滑走路用CNS通報盤設置その他工事(大阪航空局)
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成27年度～令和3年度に同種工事として国土交通省2件の施工実績があり、工事成績評定は平均73.5点であり、適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が無いことを確認した。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし
15. その他必要な事項	